

3D-iPS 細胞培養用閉鎖系自動培養装置

仕 様 書

令和 7 年 9 月

公益財団法人 京都大学 iPS 細胞研究財団

1. 1 調達物品及び構成内容

- ・ 3D-iPS 細胞培養用閉鎖系自動培養装置 一式

1. 2 調達物品概要

- ・ 本装置は、iPS 細胞の 3D 培養（浮遊攪拌培養）を目的とした装置であり、下記の仕様を満たすこと。ただし、同様の機能を有していると判断できる場合は、他の仕様であっても良い。
- ・ 細胞培養槽は、シングルユースであり、4 槽を一式として、温度（30～40℃）、pH、ガス供給量（AIR/O₂/CO₂/N₂ ガス）の制御が可能であること。
- ・ 1×10^7 程度の iPS 細胞を 3D 条件で、 1×10^9 程度まで拡大培養可能なこと。閉鎖系での接続が可能であれば、小リアクターから大リアクターへの移送により、拡大培養を行っても良い。ただし、この場合は、小リアクター4 槽と大リアクター4 槽をもって、一式とする。
- ・ 細胞培養槽内の張り込み培地量は 60～500mL の範囲内であること。
- ・ 培養槽における攪拌羽の速度は 10-500rpm の範囲内であること。
- ・ 培養中の培地成分をオンラインで測定し、測定値をもとに培地交換を自動で行うフィードバック制御プログラムを有すること。
- ・ 電源は単相 100 V AC $\pm 10\%$ 、周波数 50/60 Hz で利用可能であること。
- ・ 全経路が、シングルユースかつ閉鎖系で経路が構築できており、微生物汚染のリスクが無いこと。
- ・ 専用のソフトウェアにより、各培養項目のモニター、制御、設定値の記録・出力が可能なデータ管理機能を有する（専用の PC などを付属）こと。
- ・ フロア据え置き型ではなく、ベンチトップに設置可能であること。
- ・ 消耗品を含むこと。

2. 1 納入期限及びスケジュール

- ① 本調達物品の納入期限は、令和 7 年 12 月 26 日までとする。
- ② 導入スケジュールは、当財団担当者と協議し、作業日程詳細を記載した作業計画書を提出すること。

2. 2 その他

- ① 本調達には、本物品の納品、搬入、据付、調整、検収等の不備への対応や稼動に伴う作業すべてを含めること。

- ② 納入検査確認後 1 年以内の期間においては、納入物品に不備があり、当財団が修正の必要があると判断した場合は、供給者は速やかに不備の内容に関して調査し、原則として 7 営業日以内に無償で回答すること。
- ③ 上記における調査の結果、納入物品に関して仕様書に沿った動作をしないという瑕疵が認められる場合には、供給者の責任及び負担において原則として 7 営業日以内に無償で修正を行うこと。なお、修正を実施する場合においては、修正方法等について、事前に当財団の承認を得てから着手するとともに、修正結果についても当財団の承認を受けること。

以上